

しぐじい

どんな時代にも

校長 西山 守

明けましておめでとうございます
本年も よろしくお祈りします



職員一同



- ① 問題や課題を明確に意識する
- ② 解決の助けとなるものを集める
- ③ 自分なりに考え、見通しをもつ
- ④ 決心する
- ⑤ 実行する
- ⑥ 補正する

上のようなことが、主体的にできることが重要ではないかと考えます。

しかし、これは特別なことではありません。

例えば、部屋を片付けるときにもやっていることです。

- ① あっ。部屋がちらかってきたな。片付けよう
- ② 清掃用具、ごみ袋がいるな。
- ③ どこからどのようにやろうか。
- ④ よし、始めるぞ。
- ⑤ 片付ける。
- ⑥ おっと、この隅がまだだな。

誰にでも経験があることだと思います。

しかし、肝心なことは、「主体的」であることです。強制や惰性でやるのではなく、あくまでも自ら、よりよいものを求めて活動する意欲や意志をもつことです。

学習・体験や支えてくれる家族や仲間がいることが、「自分はやればできる」「困難なことや新しいことにも挑戦しよう」「人の役に立てることをやりたい」「もっと自分を伸ばしたい」などという主体性のある行動の基盤となる意欲や意志を育んでいくはずで

「先行きが不透明な時代」と言われるようになって、かなり経った気がします。

既存の知識が、早いペースで陳腐化し、新しいものが常に求められる。また、何事にも国内だけでなくグローバル化への対応が抜きにはできない。少子高齢化・地球温暖化・格差拡大など山積する難問への解決の糸口を見いだしていかなければならない。

このように、あげればきりが無いほどのことが待ち受けています。

この先行き不透明な社会を、よい方向に進めていくのは、人材育成つまり教育によるところが極めて大きいと考えます。

年頭にあたり、先行き不透明な時代に光を見だしていける人間に必要な資質とは何か、もう一度整理して考えてみたいと思います。そのことが、どのように子どもたちを育てていくのかを明らかにすることとつながっていくと考えます。

既存の知識を記憶し、その量を増やすことだけでは、立ちゆかないことは明白です。

では、どのような資質が必要か。



1月の行事予定

- 8日(木) 給食始
- 9日(金) 安全指導
- 10日(土) 学校公開 情報モラル講習会5年
- 12日(月) 成人の日
- 13日(火) 委員会活動 身体測定(1年)
- 14日(水) 身体測定(2年)
- 15日(木) 身体測定(3年)
- 16日(金) 社会科見学6年 身体測定(4年)
- 19日(月) クラブ活動 身体測定(5年)
校内書き初め展始<30日まで>
- 20日(火) PTA 運営委員会 身体測定(6年)

- 21日(水) 午前授業 下校 13:20
(校内研究会のため。2の1は5時間目あり)
- 22日(木) 社会科見学5年
- 23日(金) 避難訓練
- 26日(月) クラブ活動(3年クラブ見学)
- 30日(金) 中学校区別協議会<午前授業>
(3の1、4の1、5の1・2・3のみ5時間目あり)

お知らせ

安井なでしこ教諭が、産休に入りました。
代わりに、田口 勇 教諭が3月まで
図画工作を担当いたします。
よろしくお願いします。

